

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	朝日大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	アサヒダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	中部地方(愛知県を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	産業実習
	学部・研究科等名	法学部
	担当教職員名・役職	大野正博・法学部教授
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	1
	受入企業等数	2
	受入企業等名	瑞穂市役所、岐阜トヨベツ株式会社
	インターンシップの分類	9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	市役所における各課所管業務の事務作業や、カーディーラーショールームにおける接客業務、販売促進POP作成業務、営業業務等に従事し、実際のビジネスを経験。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		1年次～4年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		60時間以上(事前研修・事後研修各2時間を含む。)の実習を通して、社会人としての基礎力を身に付けることを目標に「インターンシップ」を実施している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	実習前に2時間の事前研修を行い、インターンシップの趣旨や目的、注意事項を理解すると共にビジネスマナーについて研修を行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	実習の経験と大学での学びがどのようにつながっているのかを振り返り、体験や気付きを学生同士で共有するため発表会を行っている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	実習期間中に、教職員が学生及び企業担当者を訪問し実習の状況を確認している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	日報の作成、企業担当者の評価、レポートの作成及び事後研修により、学生の意識や行動の変容について確認を行っている。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習期間中は毎日実習日誌を作成し、企業担当者からコメントをいただいている。実習終了後には実習報告書を作成し、企業担当者からの「実習成果、積極性・自発性、理解度、報告・相談、職場規律、総合評価」の各項目における5段階評価と発表内容等で学生の評価を行っている。

要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間～10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
要素⑥	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前研修・事後研修各2時間を含め、実働時間が60時間以上となるよう実施期間を設定している。
	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業担当者が「実習成果、積極性・自発性、理解度、報告・相談、職場規律、総合評価」の各項目について5段階評価を行っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	朝日大学
	担当部署名	就職支援部就職支援課
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	臼井 満
	電話番号	058-329-1064
	メールアドレス	syusyoku@alice.asahi-u.ac.jp